

令和元年度事業報告書

社会福祉法人田子町社会福祉協議会

令和元年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

令和元年度、田子町社会福祉協議会は法人化 40 周年を迎えました。この 40 年の間で、地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、非正規雇用の増加など、生活そのものが変化したことにより複合的な課題が顕在化し、既存の社会の形では対応が困難になりました。

今年度は本町においても、食品店が閉店したことで、買い物に対する課題が生じたほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止として外出の自粛が求められるなど、普段当たり前に出ていた生活を変えざるを得ない状況となりました。これらの課題は、本会単独で解決することは不可能であり、他人事ではなく我が事として地域全体で協力しあうことが重要となります。

そのような中、今年度、本会では町と見守りに関する協定の締結や、町商工会の協力による出張商店街の実施、町内の社会福祉法人や特定非営利活動法人と連携しての研修会及び交流会の開催等、例年以上に他機関と協働することを意識した年となりました。

また、介護保険事業をはじめとする福祉サービスにおいても、個人の尊厳や自立を基本とし、利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めながら経営の健全化と地域福祉活動の活性化に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1) 理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、正副会長会議、管理者会議、幹部会議を開いて介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 4 回>

○第 1 回理事会

日 時	令和元年 6 月 11 日(火) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第 1 号 会長の職務執行状況について 議案第 1 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について 議案第 3 号 令和元年度一般会計補正予算(第 1 号)について (監査報告) 議案第 4 号 平成 30 年度事業報告書の承認について 議案第 5 号 平成 30 年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第 6 号 理事及び監事の選任の提案について 議案第 7 号 令和元年度定時評議員会の招集について

○第2回理事会

日 時	令和元年6月27日(木) 午後3時58分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第8号 会長の選定について 議案第9号 副会長の選定について 議案第10号 顧問の委嘱について 議案第11号 苦情解決責任者の選任について 議案第12号 第三者委員の任命について 議案第13号 社会福祉推進委員の委嘱について

○第3回理事会

日 時	令和元年12月5日(木) 午後1時57分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 会長の職務執行状況について 報告第3号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第14号 令和元年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第15号 評議員会の開催について

○第4回理事会

日 時	令和2年3月5日(木) 午後1時27分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第4号 会長の職務執行状況について 報告第5号 自己評価について 議案第16号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会定款の一部改正について 議案第17号 令和元年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第18号 令和2年度事業計画について 議案第19号 令和2年度一般会計予算について 議案第20号 評議員会の開催について

<評議員会の開催3回>

○定時評議員会

日 時	令和元年6月27日(火) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第1号 令和元年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第2号 平成30年度事業報告書の承認について 議案第3号 平成30年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第4号 理事及び監事の選任について

○第2回評議員会

日 時	令和元年12月16日(木) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第1号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第5号 令和元年度一般会計補正予算(第2号)について

○第3回評議員会

日 時	令和2年3月17日(火) 午後1時30分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 自己評価について 議案第6号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会定款の一部改正について 議案第7号 令和元年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第8号 令和2年度事業計画について 議案第9号 令和2年度一般会計予算について

<監査会の開催 2回>

○第1回監査会

日 時	令和元年5月27日(月) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会長室
内 容	平成30年度法人運営並びに事業実施状況について 平成30年度会計処理状況について

○第2回監査会

日 時	令和元年11月26日(火) 午後1時30分
場 所	せせらぎの郷 会長室
内 容	令和元年度上半期(4月~9月)会計処理状況について

<苦情処理委員会 1回>

日 時	令和元年5月31日(金) 午前10時30分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	苦情解決の流れ及び第三者委員の役割について 平成30年度~平成31年度(H30.9.1~H31.4.30)の状況報告

<正副会長会議>

13回(4/25、5/13、5/31、6/24、7/31、8/29、9/27、10/30、11/29、12/27、2/3、2/28、3/27)

人事・事業運営並びに経営状況等について定例的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

<管理者会議>

12回(4/22、5/20、6/19、7/22、8/19、9/20、10/18、11/20、12/19、1/21、2/17、3/23)

各部署管理者(事務局長、所長)において、介護保険事業の経営状況並びに各部署の運営状況についての情報の共有化を図り、課題の分析・対応について協議し経営の健全化に努めました。

<幹部会議>

12回(4/25、5/24、6/25、7/24、8/28、9/26、10/28、11/25、12/20、1/24、2/25、3/25)

幹部職員(事務局長、所長、主任等)において、介護保険事業の実施状況や経営状況並びに社協の事業についての情報の共有化を図り課題の改善策等について協議しながら経営の健全化に努めました。

(2) 社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額 2,667,500 円(介護・障害サービス収入を除く収入の 3.3%)の実績をあげることができました。

＜社協会費納入内訳＞

会員区分		会費年額	会員数	会費額
世帯会員	普通会員	1,000 円	1,377 人 (-16 人)	1,376,500 円 (-16,500 円)
	賛助会員	2,000 円	428 人 (-11 人)	856,000 円 (-22,000 円)
	小計 ①			1,805 人 (-27 人)
団体賛助会員②		1 口 5,000 円	33 事業所 87 口	435,000 円 (-10,000 円)
合計 ①+②				2,667,500 円 (-48,500 円)

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町や青森県社会福祉協議会等から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は 60,645,850 円(総収入の 37.2%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の 76.1%となっています。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として 1,040,000 円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

＜共同募金配分金による事業＞

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	300,000 円	大会運営費
広報物の作成	315,000 円	社協だより 2,200 部×2 回、クリアファイル 300 部
福祉協力校活動費	250,000 円	町内 5 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
障害者福祉事業	100,000 円	障害者交流会開催費用
合計	1,040,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。

また、第 53 回田子町社会福祉大会においてチャリティーバザーを開催し、社協関係者並びに町民各位の協力により 131,340 円の売上がありました。

- ・寄付金 11 件 208,159 円
- ・チャリティーバザー 1 件 131,340 円
- ・寄付物品 8 件 (電動ベッド、車いす、紙おむつ等)

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、介護支援専門員の資質の向上を図りながら利用者の自立支援に努めました。

介護支援専門員については、常勤専従管理者1名と常勤専従2名、常勤兼任1名(勤務体制では0.5名扱い)の3.5名体制で業務を行いました。

利用件数は、計画作成延件数が1,122件(月平均93.5件)あり、その内新規契約件数が前年度より7件増の36件(月平均3.0件)となりました。

しかし、新規契約数は増加したものの、3件は計画作成に至らなかったほか、独居生活利用者や介護者の高齢化等によって特別養護老人ホーム等へ入所するケースが24件、事業所変更が6件、他界された方が15件あったことで、収入は前年度より約1,083,000円の減収となっています。

また、今年度は町介護保険担当課が事務局である田子町介護保険連絡協議会に参加し、他事業所のケアマネジャーと業務における課題等について協議検討したほか、町担当課に対し在宅生活に繋がる計画作成の見込みのある新規利用者を継続して紹介してもらうよう要望しました。

<居宅介護支援事業実施状況>

新規契約件数	36件 (+7件)
計画作成延件数	1,122件 (-71件)
1月当たりの計画作成件数	93.5件 (-5.9件)
住宅改修支援件数	5件 (+4件)
福祉用具購入等支援件数	5件 (±0件)

※()内は前年度対比

<月別居宅介護計画作成件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	94	98	99	98	95	91	
	(-6)	(-4)	(-6)	(-4)	(-5)	(-9)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	94	92	89	87	88	97	1,122
	(-7)	(-13)	(-10)	(-6)	(-2)	(+1)	(-71)

※()内は前年度対比

<月別介護支援専門員数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	42.0
	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-6.0)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員 1 人当たりの担当件数＞

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	26.9	28.0	28.3	28.0	27.1	26.0
	(-18.6)	(-18.4)	(-4.6)	(-3.9)	(-4.2)	(-5.3)
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	26.9	26.3	25.4	24.9	25.1	27.7
	(-4.7)	(-6.6)	(-5.6)	(-4.2)	(-3.2)	(-2.3)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

ケアマネジャーを中心とする関係機関等と連携しながら、特に重度の利用者を抱える家族介護の負担軽減にも配慮し、利用者ができる限り在宅で安心して生活が継続できるようにサービスの提供に努めました。

今年度は、新規・再開利用者は昨年より1名減の19名と大幅な減少ではありませんでした、利用回数は303回減少し、その結果、前年度より984,590円の減収となりました。

減収の理由として、利用回数の多かった利用者が入院したり、ショートステイの利用延長により訪問介護サービスの利用が短期間となる傾向があることが挙げられます。

サービス別では、介護保険の「身体介護」「身体生活」はサービスの見直しにより訪問回数は増えましたが、障害者を含む「生活援助」の回数は減りました。

障害者においては、利用者数は前年度と変わらず7名でしたが、訪問回数が増えたことで270,920円の増収となっています。

＜訪問介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計
利用登録者	42人 (+3人)	5人 (±0人)	7人 (±0人)	54人 (+3人)
実利用者数	42人 (+3人)	5人 (±0人)	7人 (±0人)	54人 (+3人)
新規・再開利用者数	17人 (+1人)	1人 (-1人)	1人 (-1人)	19人 (-1人)
延訪問回数	2,512回 (-385回)	120回 (-2回)	424回 (+84回)	3,056回 (-303回)
サービス別訪問回数	身体介護	1,499回 (-321回)	-	1,499回 (-321回)
	身体生活援助	996回 (+193回)	-	996回 (+193回)
	生活援助	17回 (-257回)	120回 (-2回)	424回 (+84回)
延活動時間数	1,880時間 (-208時間)	109時間 (-3時間)	183時間 (-155時間)	2,172時間 (-366時間)

※()内は前年度対比

＜訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	26	25	23	24	25	25	23	21	19	22	24	26	42
	4	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	5
延訪問回数	255	223	187	244	253	247	219	176	180	166	165	197	2,512
	15	13	6	8	9	7	8	5	12	12	8	17	120
身体介護	150	130	104	147	159	160	140	102	104	95	90	118	1,499
身体生活	101	89	81	97	94	83	77	73	76	71	75	79	996
生活援助	4	4	2	0	0	4	2	1	0	0	0	0	17
	15	13	6	8	9	7	8	5	12	12	8	17	120
延活動時間	192	166	146	178	186	185	164	137	132	121	125	148	1,880
	13	12	8	7	8	6	7	4	11	11	7	15	109

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

＜居宅介護サービス月別実施状況(障害)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	5	5	6	6	6	6	6	5	5	4	2	6	7
訪問回数(身体)	11	7	35	39	35	38	38	23	10	4	4	4	248
訪問回数(精神)	15	13	13	12	17	17	14	15	14	15	4	27	176

※実利用者数の計は年間の実利用者数

＜訪問介護事業月別キャンセル状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	6	5	4	6	1	3	3	7	4	8	2	2	51
居宅介護(障害)	3	6	2	3	4	2	2	1	0	1	0	1	25
計	9	11	6	9	5	5	5	8	4	9	2	3	76

単位:回

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
サービス提供責任者	0人	1人	0人	1人	介護福祉士
訪問介護員	0人	2人	0人	2人	介護福祉士 1人 ヘルパー2級 1人
合計	1人	3人	0人	4人	

※R2.3.31 現在

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

利用者の心身機能の維持向上と社会参加を促進し、日常生活が活性化されるよう利用者個々の状態と家族の介護負担の軽減に配慮しながらサービスの提供に努めました。

今年度は、職員の退職や育児休業によりスタッフ数が限られる中での事業運営となり、特に11月以降から冬期間の施設利用などの影響で、後半の実績が大きく落ち込みました。その結果、昨年度より通所介護事業は1,295,710円の減額となりました。

障害者自立支援(障害者通所介護)では、6月から新規利用者が1名増え、2名の利用者がほとんど休むことなく利用され、昨年より380,080円の増額となりました。

全体的にみると年間実利用者が11名の減少がありました。延べ利用回数も前年度より180回減となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より1.5%減の47.8%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より0.6人減の19.1人となりました。

<通所介護事業実施状況>

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	80人 (-10人)	4人 (-1人)	2人 (±0人)	86人 (-11人)
延利用件数	5,604回 (-203回)	232回 (-29回)	141回 (+52回)	5,977回 (-180回)
1日当たりの平均利用者数	17.9人 (-0.7人)	0.7人 (-0.1人)	0.5人 (+0.2人)	19.1人 (-0.6人)
稼働日数				313日 (+1日)
年間稼働率				47.8% (-1.5%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

<通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	57	65	65	63	60	59	62	56	53	55	55	60	84
延利用件数	476	537	531	572	505	450	532	481	427	432	425	468	5,836
延食事提供数	468	529	523	560	494	443	521	474	417	425	420	460	5,734
延入浴介助件数	444	496	501	533	485	445	507	452	395	413	407	444	5,522
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	26	25	26	313
平均利用者数/日	18.3	19.9	21.2	21.2	18.7	18.0	19.7	18.5	16.4	16.6	17.0	18.0	18.6
稼働率(%)	45.8	49.7	53.1	53.0	46.8	45.0	49.3	46.3	41.1	41.5	42.5	45.0	46.6

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

＜通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	9	7	9	13	12	12	13	14	13	14	12	13	141
延食事提供数	9	7	9	13	12	12	13	14	13	13	12	13	140
延入浴介助件数	9	7	9	13	12	12	13	14	13	13	12	13	140

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	18	14	17	26	24	24	25	28	26	28	24	25	279
稼働日数	9	7	9	13	12	12	13	14	13	14	12	13	141

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	社会福祉主事 初任者研修 相談員兼務
生活相談員	2人	1人	0人	3人	介護福祉士 3人 介護職員兼務
看護職員	3人	0人	1人	4人	機能訓練指導員兼務 看護師 3人 准看護師 1人
介護職員	0人	3人	4人 (うち1人育休)	7人 (うち1人育休)	介護福祉士 2人 初任者研修 4人 ヘルパー2級 1人
調理員	0人	1人	4人 (うち1人育休)	5人 (うち1人育休)	調理師 2人 配食サービス兼務
計	6人	5人	9人 (うち2人育休)	20人 (うち2人育休)	※2月育休復帰 2人(看護師1人、介護職員1人)

※R2.3.31 現在

(2)在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

今年度は継続して利用していた方が施設に入所される等によって、前年度より利用件数は大きく下がる結果となりました。

＜福祉有償運送事業実施状況＞

登録者数	66人 (-24人)
実利用者数	71人 (-1人)
稼働日数	197日 (-31日)
延利用件数	731件 (-345件)

※()内は前年度対比

＜福祉有償運送事業月別実施状況＞

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	16	15	18	22	15	17	18	18	14	12	13	19	197
実利用者数	22	23	29	33	30	28	28	29	24	25	22	26	71
延利用件数	56	55	62	81	72	63	65	69	53	40	49	66	731
町内	40	35	38	58	44	47	49	49	36	26	30	33	485
三戸・南部	7	8	13	14	12	8	4	10	8	8	11	15	118
八戸市	5	4	7	3	6	2	6	0	2	0	0	8	43
その他	4	8	4	6	10	6	6	10	7	6	8	10	85

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度の利用者状況の内訳は、前年度からの継続30名、新規登録者13名、利用再開5名、利用休止17名となり、新規および利用再開者が休止者よりも多く、継続して利用していただいたことで、延食数は前年度より大きく増加しています。

＜配食サービス事業実施状況＞

登録者数	48人 (+4人)
稼働日数	302日 (-7日)
延食数	4,841食 (+866食)
1日当たりの平均食数	16.1食 (+3.2食)

※()内は前年度対比

＜配食サービス月別実施状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	25	27	25	27	27	25	23	26	26	20	25	26	302
実利用者数	25	28	30	29	29	32	31	28	26	28	29	31	48
延食数	386	383	374	430	406	424	449	391	373	361	416	448	4,841
平均食数/日	15.4	14.2	15.0	15.9	15.0	17.0	19.5	15.0	14.3	18.1	16.6	17.2	16.1

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数～日、実利用者数～人、食数～食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

＜福祉機器貸出状況＞

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	10台(±0)	4台(+1)	8台(-4)	2台(±0)	0台(-1)
新規貸出数	5台(-3)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)
返却数	6台(-2)	0台(±0)	2台(+1)	0台(±0)	1台(+1)
貸出中の台数	4台(-1)	2台(±0)	7台(-2)	2台(±0)	0台(-1)

※R2.3.31現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ 21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づくりを進め、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努めました。また、今年度は見守りの重層化を図るため町と「田子町地域見守りネットワーク事業」を締結し、町地域包括支援課と共催で行ったほのぼの協力員研修会では、地域住民主体での見守りマップを作成することで、自分の住む地域の見守り・避難経路等の情報交換をしながら、地域の助け合いの重要性を改めて認識しました。

見守りに繋がるサロン活動では、作業療法士等の協力を得ることで、介護予防の観点も含めながら実施したほか、サロンを運営するボランティア(リーダー)の掘り起こしにも努めました。特に今年度のサロンリーダー研修会では、町内の社会福祉法人の協力によって講師を招くなど、新たな社会資源の確保にも努めました。

また、「田子町地域介護予防活動支援事業」により、平成 29 年度より町から各サロンへの助成金が支給されていることで、各地域におけるサロン活動も継続して開催されるようになっており、今年度は新たに 3 地区でサロンが実施されましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として、農閑期である冬期間の活動が自粛されたことに伴い、延回数及び延参加者数は前年度より減少しています。

また、各自治会の協力のもと、全地区にほのぼの協力員を配置することで個別の日常적인見守りの体制は整備されているものの、この体制を周知する場である各自治会総会についても、サロン活動同様自粛する地区が多数あったため、事業説明の回数も前年度より減少しています。

今後は見守り体制が機能するよう各地域の要支援者の実態把握と合わせて、地区ごとのほのぼの協力員体制の点検と具体的な活動の見直しを行い、田子町地域見守りネットワークと連携した見守り体制の再構築並びに活動が停滞しているサロンへの支援が課題となっています。

<ほのぼの交流事業活動状況>

協力員グループ数	55 グループ (-7 グループ)
協力員総数	146 人 (+2 人)
対象世帯総数	140 世帯 (-21 世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	11 地区延 11 回 (-10 地区 延-10 回)
ふれあい交流会	0 地区 0 回 (-1 地区 延-1 回)
ふれあいいきいきサロン登録数	34 グループ (+4 グループ)
ふれあいいきいきサロン	23 地区延 77 回 (+1 地区 延-13 回)
ふれあいいきいきサロン参加者数	延 1,282 人 (-278 人)
交流協力員研修会	2 回延 65 人 (+15 人)

※()内は前年度対比

<見守りネットワーク研修会>

日 時	令和元年 7 月 18 日(木) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 ホール
内 容	「ほのぼの見守り研修会～地域の支え合いマップをつくろう～」 講師 東京福祉大学社会福祉学部 専任講師 熊谷大輔氏 共催 田子町役場地域包括支援課

＜ふれあいいいききサロン開催状況＞

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(人)
向山女子会	向山	4	58
七日市ほのぼのサロン	七日市	1	27
矢田郎わくわく会※	矢田郎	2	50
野月ふれあいサロン	野月	3	37
野々上ふれあいサロン※	野々上	2	21
池振ふれあいサロン	池振	4	101
にしたてのふれあいサロン	西館野	7	107
宮野ふれあいサロン	宮野	2	32
細野ふれあいサロン	細野	3	62
明土平ふれあいサロン	明土平	2	34
根渡ふれあいサロン	根渡	2	18
本町笑いの会	北側・南側	2	50
下本町ふれあいサロン	下本町	2	44
雀ヶ平ふれあいサロン	雀ヶ平	6	55
のもてふれあいサロン	野面・極ノ実	10	78
飯豊サロン	飯豊	1	10
原スマイルサロン	原	2	27
石亀地区サロン	石亀	10	260
嘉沢にこにこ会	嘉沢	1	13
山口ふれあいサロン※	山口	1	11
関ふれあいサロン	関	8	156
遠瀬いきいきサロン	遠瀬	1	11
新田ふれあいサロン	新田	1	20
計	23 地区	77 回	1,282 人

※は新規

＜ふれあい・いきいきサロンリーダー研修会＞

日 時	令和 2 年 2 月 5 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
内 容	認知機能低下予防プログラム「シナプソロジー」実例紹介と体験 講師 株式会社ルネサンス 健康スポーツ教育研究所 シナプソロジーチーム 谷 賢造 氏(健康運動指導士) 事例発表 社会福祉法人吉幸会みろく苑 職員

(2)心配ごと相談事業

民生委員 4 人を相談員として委嘱し、毎月第 3 火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に向いて相談を受けることもできる体制を取り、ケーブルテレビや社協だより、ホームページを活用して事業のPRの強化を図りました。今年度は新たにホームページを介してメールでの相談があり、今後このような形での相談は増加すると考えられます。

また、定期的相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間 3 回設けたほか、日常の相談については随時事務局で対応しました。

＜相談事業実績状況＞

年間開設日数	15日(±0日) ※専門相談日3日を含む
相談実日数	59日(+10日)
延相談利用者数	59人(+12人)
実相談内容件数	51件(+4件 ※再来9件)
延面接所要時間	1,280分(+100分)
1件あたりの所要時間	21分(-4分)

※()内は前年度対比

＜相談内容別処理状況＞

相談内容	件数	解決	再来	他機関	その他	支援中/ 未解決
生計に関する事	3	0	5	1	0	2
離婚に関する事	2	1	0	0	0	1
人権・法律に関する事	3	3	0	0	0	0
財産に関する事	4	3	0	1	0	0
老人福祉に関する事	13	3	4	7	0	4
あつぷるハートに関する事	9	2	0	3	0	3
福祉安心電話に関する事	8	4	0	1	0	3
その他	9	4	0	2	0	3
合計	51	20	9	15	0	16

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

＜専門相談実施状況＞

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
令和元年 9月 25日	弁護士法人たいよう総合法律事務所 上野大輔弁護士	3人
令和元年 11月 27日	浅石法律事務所 小野恭弁護士	2人
令和2年 1月 29日	薫る風法律事務所 橋本薫弁護士	2人

＜心配ごと相談員並びに運営委員合同会議＞

日時	令和2年3月18日(水) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	令和元年度心配ごと相談状況報告について 令和2年度心配ごと相談所運営について

(3)福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得るよう努めたほか、ほのぼの協力員との合同研修会並びに利用者及び協力員の交流会を実施し、事業についての理解を深めました。

＜福祉安心電話設置状況＞

新規入会件数	3件 (-5件)
退会件数	5件 (+1件)
設置世帯件総数	28件 (-3台)
協力員数	89人 (-5人)

※()内は前年度対比

<相談・緊急通報状況>

緊急	0件 (±0件)
相談	5件 (+5件)
連絡(お元気コール含む)	73件 (-5件)
誤報	15件 (+14件)
停電	43件 (+43件)
その他(機器試験)	16件 (+8件)
計	152件 (+65件)

※()内は前年度対比

<福祉安心電話利用者・協力員交流会及び研修会>

日時	令和元年 11月 29日(金) 午前9時30分～午後4時
場所	平川市 おのえ温泉 福家
内容	社協事業説明(福祉安心電話、ほのぼのコミュニティ21推進事業等)と情報交換会

(4)会食交流事業(寄りあいっこ)

65才以上の高齢者を対象に毎月1回、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

<会食交流事業実施状況>

開催回数	9回 (-1回)
登録者数	127人 (+26人)
登録世帯数	118世帯 (+18世帯)
延参加者数	336人 (-52人)

※()内は前年度対比

<会食交流事業実施状況>

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月	52人	横浜町	菜の花畑の巨大迷路体験
6月	36人	八戸市	シーガルビューホテルにて会食・温泉
7月	34人	十和田市	イオンスーパーセンター十和田にて買い物
8月	39人	八戸市	観光遊覧船シャーク号乗船、八食センターにて買い物
9月	53人	青森市	青龍寺昭和観音拝観、ホタテ御膳会食
10月	41人	南部町	なかよしファームにてブドウ狩り
11月		田子町	田子町社会福祉大会参加 写真展示・販売受付
12月	32人	八戸市	新八温泉にて会食・温泉
1月	25人	田子町	田子幼稚園園児と一緒にしるこ会
2月	24人	二戸市	南部煎餅の郷とチョコレート工場 2doorにて買い物
合計	336人		

(5) 高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障害等のため居宅において生活することに不安のある方に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

<高齢者生活福祉センター利用状況>

実利用世帯	12世帯 (+2世帯)
・単身	12世帯 (+2世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	44世帯 44人 (-11世帯 -11人)

※()内は前年度対比

<高齢者生活福祉センター月別利用状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	8	0	0	0	0	0	0	0	9	9	9	9	12人
延利用日数	174	0	0	0	0	0	0	0	264	279	261	278	1,256日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6) 低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行い世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

<年度末貸付総件数>

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	8件	1,381,129円	995,339円
更生資金	1件	700,000円	193,000円
福祉資金	1件	2,050,000円	924,980円
計	10件	4,131,129円	2,113,319円

※R2.3.31 現在償還中を含む

<生活福祉資金貸付調査委員会>

日時	令和2年3月18日(水) 午後2時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	生活福祉資金貸付及び償還状況について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活を送れるように援助しました。しかし、今年度1件の欠損処分を行ったように、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

〈たすけあい資金新規貸付状況〉

資金の種類	件数	金額
生活資金	1件	20,000円

〈たすけあい資金欠損処分状況〉

資金の種類	件数	金額
生活資金	1件	18,000円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

〈相談支援の状況〉

進捗状況報告会	9回
---------	----

エ. フードバンク事業

青森県社会福祉協議会が実施するフードバンクシステムにより食品等を無償で譲り受け、また、個人や団体等から寄付された食品を自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

〈提供状況〉

提供者数	3名(±0名)
提供回数	6回(-1回)

※()内は前年度対比

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を2人配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。

また、老人福祉センターの利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修会の支援を行い高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

今年度は田子町商工会の協力により、出張商店街を試験的に3回開催し、町内の食品店閉店に伴う買物弱者の支援策として、多くの老人福祉センター利用者に立ち寄っていただきました。

〈老人福祉センター利用状況〉

開所日数	260日 (-6日)
延利用者数	9,341人 (-582人)
平均利用者数/日	35.9人 (-1.4人)

※()内は前年度対比

〈出張商店街開催状況〉

	第1回	第2回	第3回
開催日	令和元年12月17日(火)	令和2年1月14日(火)	令和2年2月18日(火)

(8) ほっとできる居場所づくり事業(障害者福祉事業)

青森県共同募金会からの配分金を活用し、田子町老人福祉センターを拠点として、誰もが住み慣れた地域でほっとできる居場所づくりを目的に交流会を実施しました。主に田子町手をつなぐ育成会会員を中心に、地域の高齢者や陽だまりの家等の障害者施設の方々が交流を通しお互いの理解を深めました。

○第1回交流会「陽だまりの家との交流会」

日時	令和2年1月8日(水) 午前10時30分
場所	田子町 特定非営利活動法人 陽だまりの家
内容	陽だまりの家利用者と一緒になべこだんご作り(協力:田子町手をつなぐ育成会)
参加者	23名

○第2回交流会「老人センター交流会」

日時	令和2年1月24日(金) 午前11時
場所	田子町老人福祉センター
内容	センター利用者にあずきぱつとを提供(協力:田子町手をつなぐ育成会)
参加者	約50名

○第3回交流会「老人センター交流会」

日時	令和2年2月14日(金) 午前11時
場所	田子町老人福祉センター
内容	センター利用者にひつまみを提供(協力:田子町手をつなぐ育成会・ボランティア)
参加者	約70名

(9)相談援助技術実習(社会福祉士)の受入れ

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を受け入れ、現場実習を通してソーシャルワーカーとして必要な知識や技術を習得できるよう努めました。

○盛岡医療福祉専門学校 1人

令和元年8月1日～令和元年9月10日(合計23日間 184時間)

(10)あつぷるハート(日常生活自立支援事業)の支援・協力

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協である八戸市社会福祉協議会との連携により、利用者との契約に基づいた福祉サービスの利用援助の支援・協力をしました。近年はケアマネジャーや保健師からの相談件数が増加しており、今年度は新規契約者も増えたことで、支援員も1名増員となりました。

相談件数	9件(+4件)
新規契約件数	1件(-1件)
契約支援件数	3件(+1件)
支援回数	25回(+9回)※
生活支援員	2名(+1名)

※事前訪問、相談訪問含む

4.福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

(1)ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター(機能)を構築していく必要があります。

＜ボランティア登録状況＞

社協事業登録ボランティア	個人 295 人 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
デイサービスボランティア	個人 0 人 (-1 人)
配食サービスボランティア	個人 0 人 (-1 人)
寄りあいっこボランティア	個人 2 人 (-1 人)
その他のボランティア	1 団体 31 人 (±0 団体 +4 人)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各学校(小学校 3 校、中学校 1 校、高校 1 校)を福祉協力校として指定し、活動費として 1 校当たり 5 万円を助成し福祉活動の支援を行ったほか、ボランティア協力校の連絡会議を開催し各学校との連絡調整と活動の支援を行いました。

＜福祉協力校連絡会議＞

日 時	令和元年 5 月 23 日(木) 午後 3 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	福祉教育メニューについての協議・意見交換

(3) 啓発宣伝事業

ア. 社会福祉大会の開催

町民の福祉意識の高揚と、地域福祉の推進を図るために、法人化 40 周年記念第 53 回田子町社会福祉大会を開催しました。法人化 40 周年を祝い保育園児によるオープニングセレモニーが行われたのち、互いの顔が見えるご近所づきあいによる助け合いの必要性について説いた講演会と、長年社会福祉へ貢献された方を表彰する式典を執り行いました。また、恒例となった学童保育児童による参加者全員へのプレゼント作りやチャリティーバザー、地域住民(サロン活動)による作品展示販売等、社協職員のみならず、社協関係者、民生委員児童委員、各種団体及び一般町民など多くの方の参加、協力を得て実施しました。

＜法人化 40 周年記念第 53 回田子町社会福祉大会＞

日 時	令和元年 11 月 7 日(水) 午前 10 時 15 分
場 所	田子町中央公民館
内 容	・大会式典(受賞者 12 名 1 団体) ・田子保育園児・上郷保育園児によるオープニングセレモニー ・講演 八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 教授 吉田守実 氏 ・演題 「このまちで、ずうっと暮らしたい！ ～一歩踏み出せる“おせっかい”な地域づくり～」 ・福祉施設作品展示販売・サロン作品展示販売・チャリティーバザーなど
大会参加者	約 180 人(社協関係者・民生委員児童委員・各種団体・一般町民)

イ. 広報活動

「社協だより」を 2 回(1 回 2,200 部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

また、ホームページにおいても、社協の事業やイベント等様々な情報を随時発信しました。

(4) 高齢者世帯等奉仕活動事業

消防署・警察署・東北電力・防犯協会を協力機関とする「田子町高齢者世帯防火・防犯奉仕活動協議会」により、高齢者世帯等を訪問し、安否確認や防犯指導、さらに電気設備・防火面での点検と簡単な修繕を行い対象世帯が安全で安心な生活ができるよう努めました。

日 時	令和元年 12 月 11 日(水) 午後 1 時 30 分
対象世帯	単身又は高齢者、障害者のみの世帯 5 世帯
参加者	12 人 (田子消防署 2 人、田子駐在所 2 人、東北電力 4 人、田子町防犯協会 2 人、田子町社会福祉協議会 2 人)

(5) 福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(52 人)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また、本会事業に対する理解を深めるため、福祉協力員とほのぼの協力員を対象に研修会を開催しました。

＜福祉協力員研修会(ほのぼの協力員・福祉協力員合同研修会)＞

日 時	令和元年 7 月 18 日(木) 午後 1 時 30 分
場 所	田子町中央公民館 ホール
研修内容	<p>第一部 ほのぼのコミュニティ 21 推進事業について ほのぼの協力員の役割について</p> <p>第二部 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 赤い羽根共同募金活動について 社協の事業について</p>

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

また、青森県共同募金会と連携し、ご当地ピンバッジを作成し、地域福祉活動の醸成に努めました。

＜赤い羽根共同募金実績＞

赤い羽根共同募金総額	1,498,753 円
個別募金(1,795 世帯)	1,188,619 円
社協窓口ピンバッジ募金	65,350 円
職域募金(4 件)	12,133 円
イベント募金 4 回 (町福祉大会・にんにくとべごまつり・寄りあいっこ)	149,527 円
役場窓口募金	32,990 円
学校募金(4 校)	43,634 円
県共募からの振替(たっこ王子ピンバッジ)	6,500 円

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1) 田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」を、委託事業として「すくすく館田子分館」「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の学童保育事業に取り組みました。

町内の小学校に通う児童で、保護者が就労等により昼間家にいない児童を対象として、平日の放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業期間に保護者と児童が安心して利用できる「遊び」と「生活」の場を提供し、子どもの健全育成を図るため、保護者会(すくすく倶楽部)と相互に協力して事業を実施しました。

今年度も支援員の確保と定着が難しい中で、新型コロナウイルス感染症による小学校休校への対応として臨時的な開館が求められるなど、例年以上に厳しい状況となりましたが、「児童の安全」と「安心して居ることができる場所づくり」を心がけて、日常の遊びなどのほか、毎月の誕生会、バス遠足や季節の行事などを通して自主性、社会性、創造性を培いながら児童の健全育成に努めました。

また、引き続き清水頭小学校の学童利用児童の平日の送迎を行い、学童保育利用における地域格差の解消に努めました。

さらに、上郷分館では、上郷公民館や周辺のごみ拾いを通し、ふるさとへの思いの醸成や地域貢献の経験を積めるよう努めました。

<学童保育実施状況>

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

<開設日数・登録児童数>

施設	年間開設日数					登録児童数				備考
	平日	土曜	振替 休業	長期 休業	計	区分	年度 当初	年間 増減	年度末	
本館	188	38	10	49	285	通常	53	-2	51	増1 減3
						長期	3	1	4	増1 減0
						一時	0	2	2	増4 減2
						計	56	1	57	増6 減5
田子分館	194	38	4	49	285	通常	14	-2	12	増0 減2
						長期	0	0	0	増0 減0
						一時	1	1	2	増1 減0
						計	15	-1	14	増1 減2
上郷分館	192	39	6	48	285	通常	13	0	13	増0 減0
						長期	0	0	0	増0 減0
						一時	0	0	0	増0 減0
						計	13	0	13	増0 減0
計	574	115	20	146	855	通常	80	-4	76	増1 減5
						長期	3	1	4	増1 減0
						一時	1	3	4	増5 減2
						計	84	0	84	増7 減7

<月別開設日数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	24	21	25	26	23	23	24	24	24	23	23	25	285
田子分館	24	21	25	26	23	23	24	24	24	23	23	25	285
上郷分館	24	21	25	26	22	23	25	24	24	23	23	25	285
計	72	63	75	78	68	69	73	72	72	69	69	75	855

<延利用児童数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	866	791	947	930	770	801	829	702	840	716	697	501	9,390
田子分館	180	158	220	193	134	169	200	176	179	122	134	64	1,929
上郷分館	265	236	238	285	220	230	245	241	248	226	231	192	2,857
計	1,311	1,185	1,405	1,408	1,124	1,200	1,274	1,119	1,267	1,064	1,062	757	14,176

<一日当たりの利用児童数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	36.0	37.7	37.9	35.8	33.5	34.8	34.5	29.3	35.0	31.1	30.3	20.0	33.0
田子分館	7.5	7.5	8.8	7.4	5.8	7.3	8.3	7.3	7.5	5.3	5.8	2.6	6.8
上郷分館	11.0	11.2	9.5	11.0	10.0	10.0	9.8	10.0	10.3	9.8	10.0	7.6	10.0
計	54.5	56.4	56.2	54.2	49.3	52.1	52.6	46.6	52.8	46.2	46.1	30.2	49.7

<延支援員配置数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	96	87	86	101	98	87	90	90	99	85	84	89	1,092
田子分館	54	42	50	51	55	49	51	51	51	47	49	63	613
上郷分館	53	45	53	69	62	50	54	53	57	52	49	80	677
計	203	174	189	221	215	186	195	194	207	184	182	232	2,382

＜一日当たりの支援員配置状況＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	4	4.1	3.4	3.9	4.3	3.8	3.8	3.8	4.1	3.7	3.7	3.6	3.8
田子分館	2.3	2.0	2.0	2.0	2.4	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.5	2.2
上郷分館	2.2	2.1	2.1	2.6	2.8	2.1	2.2	2.2	2.3	2.3	2.1	3.2	2.3
計	8.5	8.2	7.5	8.5	9.5	8.0	8.1	8.1	8.5	8.0	7.9	9.3	8.3

(2) 子育てサロンの実施

学童保育施設「すくすく館」を週2回開放し、子育て中の保護者や乳幼児、子育てに関わっている方などを対象に、「気軽に出かけてほっとできる場所」を提供し、子育て支援の一環として、子育てサロンを実施しました。

一日当たりの利用世帯数は1.7世帯でしたが、親子で出かける場所があること、ゆっくりとした時間を過ごせてリフレッシュできることが事業の大きな役割となっているほか、親同士の繋がりができるなどの成果が見られました。また、町の保健師の協力のもとに、年間3回の相談日を設けることで気軽に相談できる体制の整備にも努めました。

一方、開催日数の増加や、時間の延長を希望する声も上がっており、より利用しやすいサロンの実施が求められています。また、現在登録している親子の多くが育児休業明けには保育施設に子どもを預け仕事に復帰する予定になっており、引き続き町の乳児健診や広報、ケーブルテレビやホームページなどを活用し、広く周知を図り多くの親子が利用できるように努めます。

＜子育てサロン実施状況＞

開催日時	毎週火・木曜日 10:00～12:00
開催場所	すくすく館
実施日数	61日
登録世帯数	7世帯(親7人 子ども10人)
延利用世帯数	104世帯 253人
1日平均利用世帯数	1.7世帯 4.1人

＜子育てサロン実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用世帯	-	1	2	4	-	5	6	3	4	3	3	-	-
実施日数	-	6	8	6	-	8	9	7	6	4	7	-	61日
利用世帯数	-	3	7	8	-	22	24	11	14	6	9	-	104世帯
1日当たりの利用世帯数	-	0.5	0.8	1.3	-	2.7	2.6	1.5	2.3	1.5	1.2	-	1.7世帯
延利用者数	-	9	20	19	-	51	56	26	32	16	24	-	253人
(うち子供の数)	-	6	13	11	-	29	31	15	18	10	13	-	146人
1日当たりの利用者数	-	1.5	2.5	3.1	-	6.3	6.2	3.7	5.3	4	3.4	-	4.1人

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会